

座談会（2／9）のご報告

先日はお忙しい中、座談会に来ていただきありがとうございました。昨年よりリラックスした雰囲気ですら直に話し合うことができました。

それと長谷部さん（夫）が来られたことはうれしい驚きでした。娘さんのことに関して、自分の気持ちを正直に話してくれたこともよかったです。長谷部さんの話に対して、保護者のみなさんから自分の体験を踏まえ話して下さった内容は、とても参考になったと思います。本当に子どもにとっていいことは何なのか。私たちが常に考えつづければならないと思わされました。

今回もまたシューブの現状を理解してくださり、前向きな意見を頂くことができ本当に感謝しています。早速来年度へ向け準備していき、シューブのさらなる充実のために、今迷っている子どもたちを一人でも多く助けるために必要なことを一つひとつ具現化していこうと思います。今後ともよろしくお願ひします。



◎参加者（計9名）

伊藤さん、後藤さん、遠藤さん、飯塚さん、時岡さん、千葉さん、長谷部さんご夫妻、菊地さん

以下は、みなさんから頂いた意見（抜粋）です。

<学校との連携>

- ・ 参観日の案内を学校に対しても積極的に出したらいいのではないかな。
- ・ 一高との連携を深め、通信サポート体制の強化をしたらいいのではないかな。

<宣伝方法>

- ・ 町内会の回覧板にチラシをはさんでもらったらどうか。町内会長を訪問して、まずは放課後空間から。
- ・ 遠見塚にある仙台市障害福祉センターとの連携を図ってみたらどうか。
- ・ 宣伝内容の工夫。授業内容、やっている中身、フリースクールや学童保育の強調、など。
- ・ もっとインターネットを活用する必要があるのではないかな。積極的にリンクを貼ってもらう。
- ・ とりあえず知ってもらえるように、門戸を開いて情報を流していったらいいのではないかな。不登校児に限定せず、多動の小学生なども対象に。
- ・ 広告には「フリースクール」がわかるように工夫すること。

<その他>

- ・ 授業に必要なものは教会内にアピールして集めてみたらどうか。